

# 《新大阪地区》緑化等の方針の検討について



1. 地区の概要
2. 関連計画とまちづくりの動き
3. みどりの現況
4. 新大阪地区の特性まとめ
5. 本日の論点

# 1. 新大阪地区の概要

## ■ 立地特性

- 道路 : 南北方向には、新御堂筋線高架橋、国道176号線が、東西方向には歌島豊里線が走る。
- 鉄道 : 南北方向には新大阪駅を通るJR京都線、大阪メトロ御堂筋線、東西方向に山陽新幹線が走る。
- 公園 : 南北に淀川と神崎川がそれぞれ位置し、淀川沿いには淀川河川公園がある。

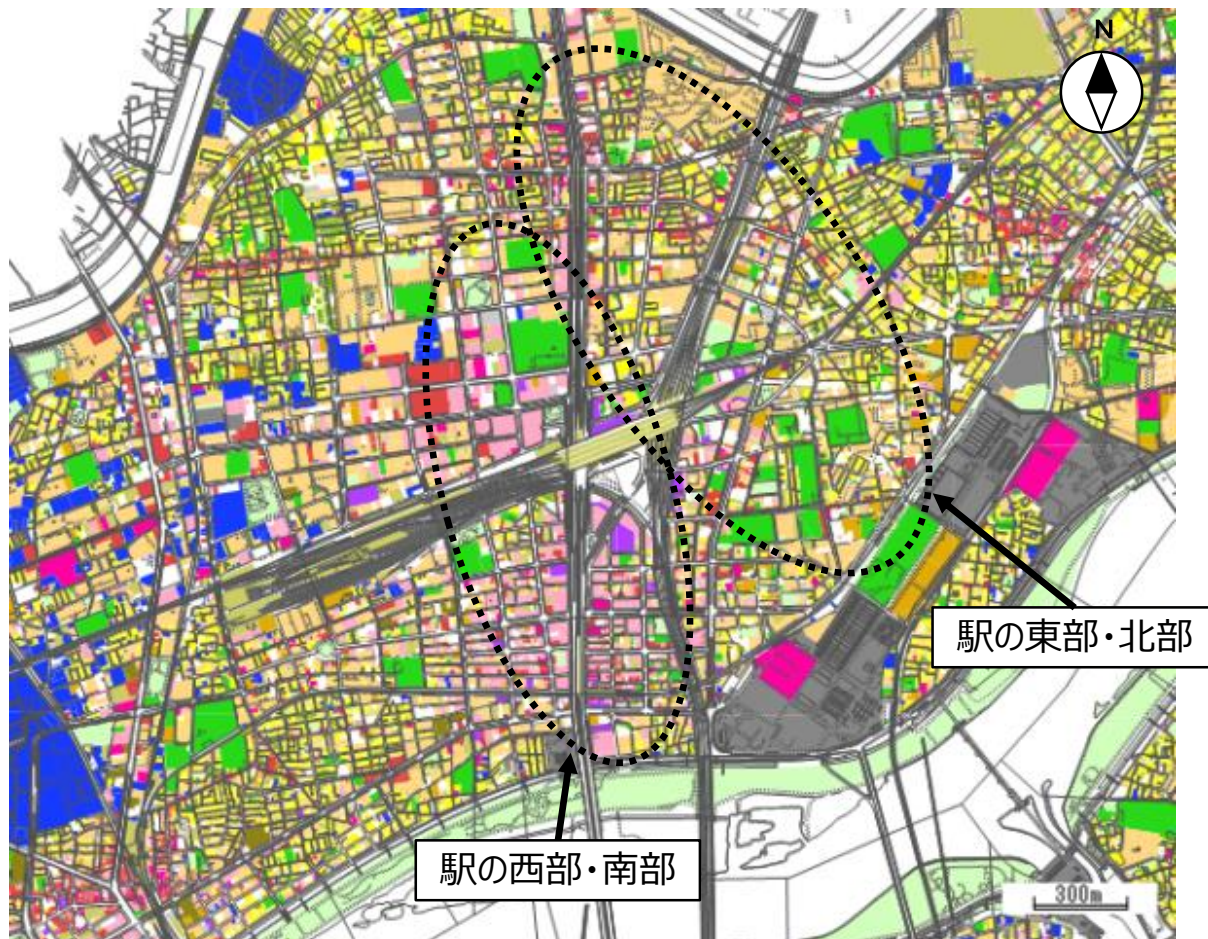


# 1. 新大阪地区の概要

## ■土地利用状況

- 新大阪駅の東部・北部では、**共同住宅**や**一戸建て住宅**が多く、**府立東淀川高校**など**文教施設**も混在している。
- 新大阪駅の西部・南部では、**業務施設**、**販売商業施設**が集積しており、**ワーカー**も多く存在すると考えられる。
- 新大阪駅周辺は**宿泊施設**も充実しており、**遠方からの来阪者の滞在**が想定される。

| 土地利用状況       |      |
|--------------|------|
| 一戸建て住宅       | 黄色   |
| 長屋住宅         | 緑    |
| 共同住宅         | オレンジ |
| 販売商業施設       | 赤    |
| 業務施設         | ピンク  |
| 文教施設         | 緑    |
| 医療厚生施設       | 茶色   |
| 遊興・娯楽・サービス施設 | マゼンタ |
| 宿泊施設         | 紫    |
| 工業施設         | 青    |
| 供給施設         | グレー  |
| 運輸通信施設       | 黄緑   |
| 官公署施設        | 茶色   |
| その他施設        | グレー  |
| 公園・緑地・お墓     | 浅緑   |
| 建物のない土地      | 白    |



【土地利用情報 平成29年】



## 2. 新大阪地区における関連計画とまちづくりの動き

### 【上位計画】

#### 新・大阪市緑の基本計画

##### ○緑化重点地区の設定の考え方

大阪の都市魅力の向上、みどりの都市イメージの構築・発信という視点から、大阪の顔となるようなエリア

##### ○緑化重点地区の緑化等の方針とは

みどりの創出だけでなく、市民・民間事業者・行政の連携などによる取組まで含めた大きな方向性を示すもの

整合  
↔

大阪のまちづくりグランドデザイン

大阪都市魅力創造戦略2025

風の道ビジョン

大阪市地域防災計画

大阪市景観計画

みどりの大阪推進計画

大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

大阪市生物多様性戦略

新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針2022

等

### 大阪のまちづくりグランドデザイン【令和4年12月：新しいまちづくりのグランドデザイン推進本部会議】

- 新大阪駅周辺における世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり
- なにわ筋連絡線、新大阪連絡線の整備による新大阪・大阪間の連携強化
- 新大阪・大阪エリアの連携による周辺エリアへのまちづくりの効果の拡大

### 大阪市景観計画【平成18年2月策定、令和2年3月変更：大阪市計画調整局】

- 概ね大阪環状線の内側や新大阪駅北側などを都心景観形成区域に指定。
- 都心景観形成区域の景観形成方針：「都心らしいまちの魅力を感じさせる景観の形成」等

### 大阪都市魅力創造戦略2025【令和3年3月：大阪府市都市魅力戦略推進会議】

- 観光案内所運営

## 2. 新大阪地区における関連計画とまちづくりの動き

### ■新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針2022〔令和4年6月：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会〕

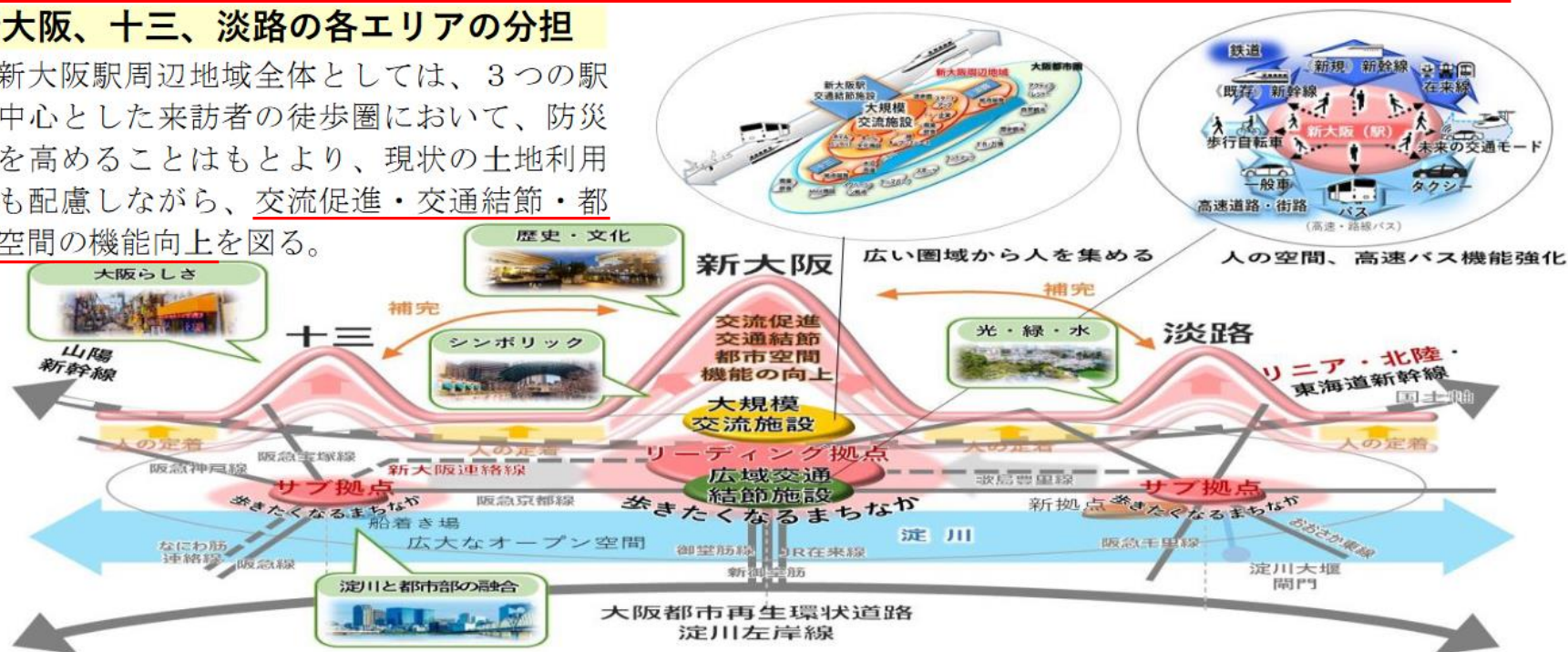
- 新大阪、十三、淡路の各エリアで役割分担しながら、交流促進・交通結節・都市空間の機能の向上を図ることとしている。

#### ○新大阪駅周辺地域が担うべき役割

①スーパー・メガリージョンの西の拠点 ②広域交通のハブ拠点 ③関西・アジアのゲートウェイ

#### ○新大阪、十三、淡路の各エリアの分担

新大阪駅周辺地域全体としては、3つの駅を中心とした来訪者の徒歩圏において、防災性を高めることはもとより、現状の土地利用にも配慮しながら、交流促進・交通結節・都市空間の機能向上を図る。





## 2. 新大阪地区における関連計画とまちづくりの動き

### ■「新大阪エリア計画」（新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針2022内） 【令和4年6月：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会】

- 新大阪駅エリアについては、エリア計画を策定。
- ハード整備については、新幹線新駅関連プロジェクトと民間都市開発プロジェクトを進めていくこととしている。
- ハード整備と合わせて、ソフト施策を官民一体で取り組むことにより、エリア価値の向上を図ることとしている。

#### まちづくりの基本的な進め方

##### ○都市機能の向上を図るゾーン

ビジネスや観光での駅からまちへの人の流れと、周辺から駅への人の流れが交わる駅から500m圏域（来訪者の徒歩圏）で、まとまりのある商業地域などを、都市機能の向上を図るゾーンとする。

##### ○まちづくりの進め方

###### 【駅まち一体の空間づくり(ハード整備)】

土地利用に配慮し、駅まち一体として、駅の周辺の6ブロックごとに人の主要動線を設けて、エリア価値の高める機能の集積と、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る。

###### ・新幹線新駅関連プロジェクト

広域交通結節施設、大規模交流施設、駅とまちをつなぐ歩行者動線、新大阪連絡線新駅ビル開発

###### ・民間都市開発プロジェクト

大規模な敷地における建て替え、土地利用転換などの開発

###### 【人と人をつなぎエリアの活性化を図る取組み(ソフト施策)】

エリアの価値を高めるために官民連携したソフト施策が必要であり、まちづくりを担う組織やプロジェクト組成の取り組みを進める。



図9. 都市機能の向上を図るゾーン

## 2. 新大阪地区における関連計画とまちづくりの動き

### ■「新大阪エリア計画」（新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針2022内） 【令和4年6月：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会】

- 新大阪駅エリアについては、エリア計画を策定。
- ハード整備については、新幹線新駅関連プロジェクトと民間都市開発プロジェクトを進めていくこととしている。
- ハード整備と合わせて、ソフト施策を官民一体で取り組むことにより、エリア価値の向上を図ることとしている。

駅まち一体の空間づくり(ハード整備)

#### ○新幹線新駅関連プロジェクト(検討の方向性)

リニア中央新幹線・北陸新幹線の駅位置を踏まえて、以下の4つの関連プロジェクトの検討の具体化を進める。

#### (1)広域交通結節施設の機能向上

鉄道・道路とまちを繋ぐ役割を担う交通結節施設は、利便性・円滑性・快適性の観点から、歩行者・自動車等交通・利用者サービスの空間をバランスよく設ける。

現状の課題解決はもとより、人の空間の拡充及び高速バスの拠点化に向けて、多層化の検討を進める。

#### (2)駅とまちをつなぐ歩行者動線(歩きたくなるまちなか)

新大阪駅の3Fの南北通路から6ブロックの方面に、駅、交通結節施設などと民間都市開発の低層部を一体的な空間として、動線を確保するとともに、賑わいや潤いのある連続的な空間形成を図る。

#### (3)大規模交流施設の立地

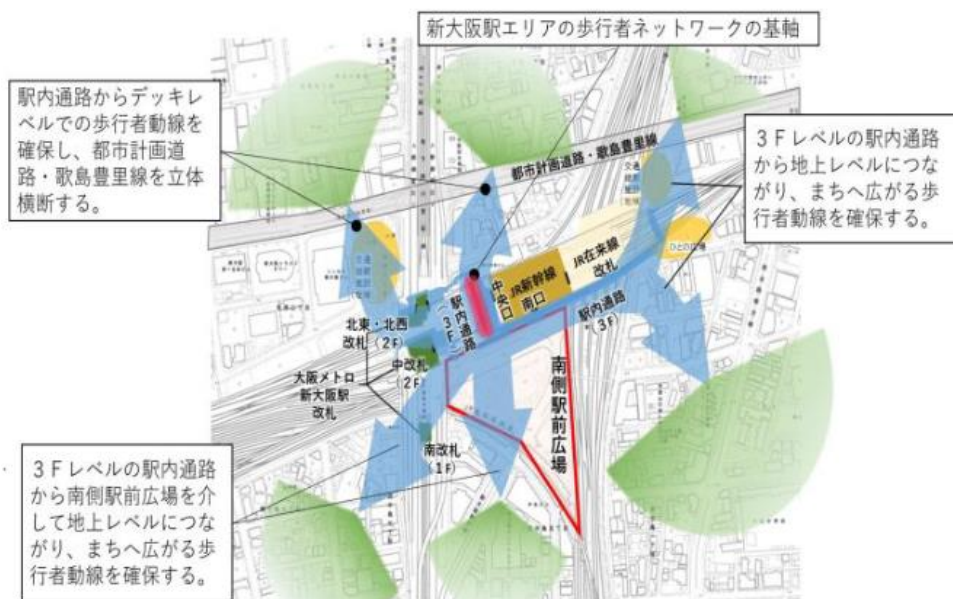
0.5～1ha規模以上で、広い圏域からの人の集積が可能な空間の確保などを図る。

#### (4)新大阪連絡線新駅プロジェクト

新大阪と十三のネットワークを強化する新大阪連絡線の新駅は、新大阪駅の北西部として、駅ビル整備と合わせて一体的にエリアの価値を向上する機能の導入を図る。

#### ○エリアの価値向上に向けた民間都市開発への期待

人の集積を図るために、大規模な建て替え、土地利用転換などのまとまりのある民間都市開発に  
合わせて、交流促進・交通結節・都市空間の機能の向上を図る。

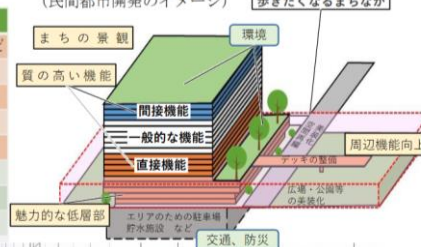


【駅とまちをつなぐ歩行者動線イメージ】

(民間都市開発に期待する内容の概要)

| 機能    | 分類      | 具体例                                   |
|-------|---------|---------------------------------------|
| 人の集積  | 質の高い機能  | 直接機能 グローバルビジネス機能、高規格な宿泊、MICE機能、文化機能など |
|       | 間接機能    | 高質な居住機能、活動支援(子育てなど)など                 |
|       | 魅力的な低層部 | 民有地内 屋内外の賑わい・潤い、人の通行・滞留機能など           |
| まちの景観 | 周辺      | デッキ、道路・公園美装化、道路空間再編など                 |
|       | まちの景観   | 建物の形態などの建物のシンボル性、人目録の空間デザイン           |
|       | 交通関連    | バリアフリー、エリアのための駐車場・駐輪場、新技術の導入          |
| その他   | 環境      | 省エネ、再エネ、創エネ、緑化、木質などの活用                |
|       | 防災性向上   | 避難場所開設機能(場所、非常用発電設備など)、貯水など           |

(民間都市開発のイメージ)



【民間都市開発のイメージ】



## 2. 新大阪地区における関連計画とまちづくりの動き

### ■ 新大阪地区周辺において予定されている開発プロジェクト

- 新大阪駅周辺では、今後様々な開発プロジェクトが予定されている。

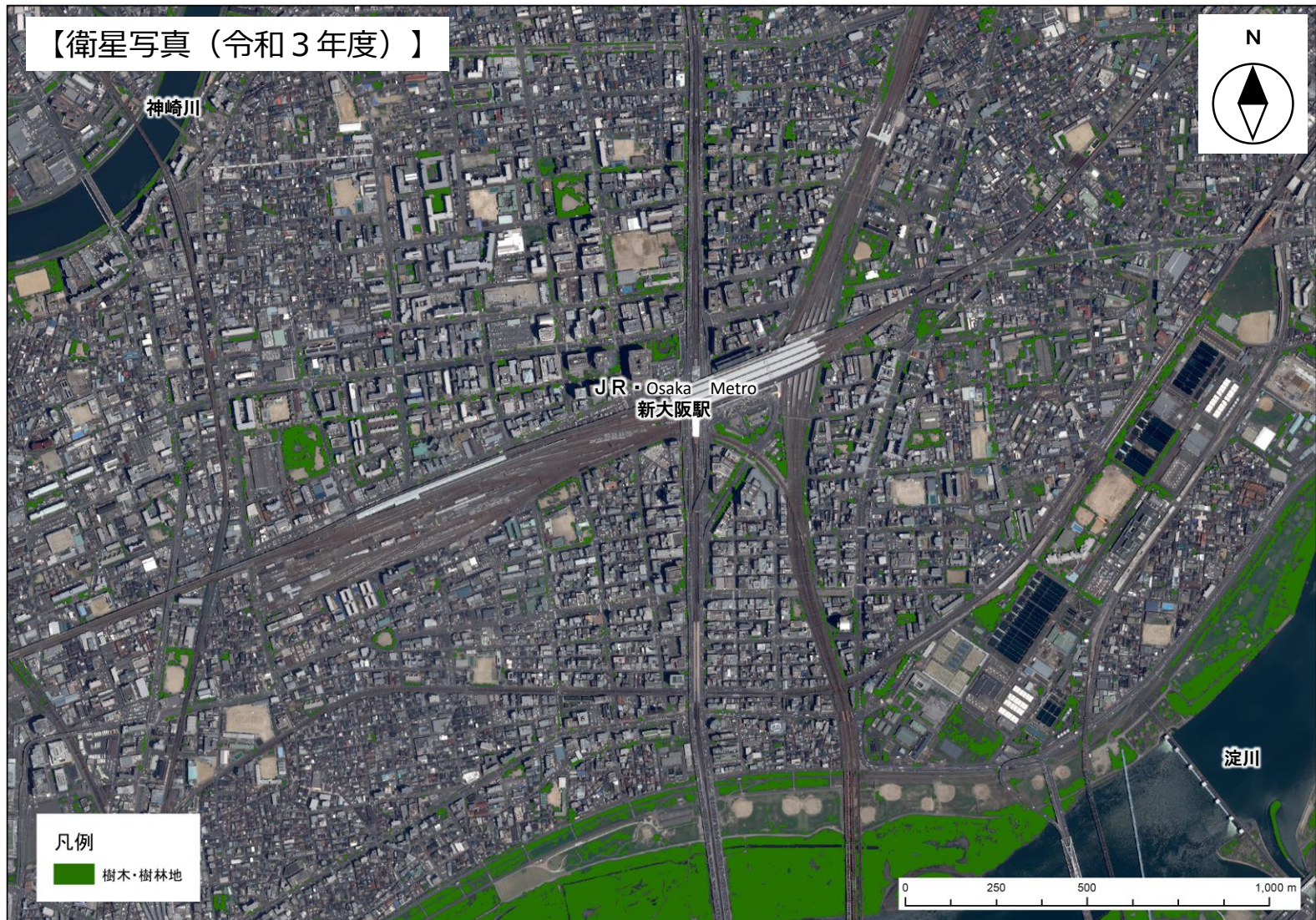




# 3. 新大阪地区におけるみどりの現況

## ■緑の分布

- 新大阪駅周辺部は比較的小規模な緑が点在し、淀川では広大な緑の空間が広がっている。

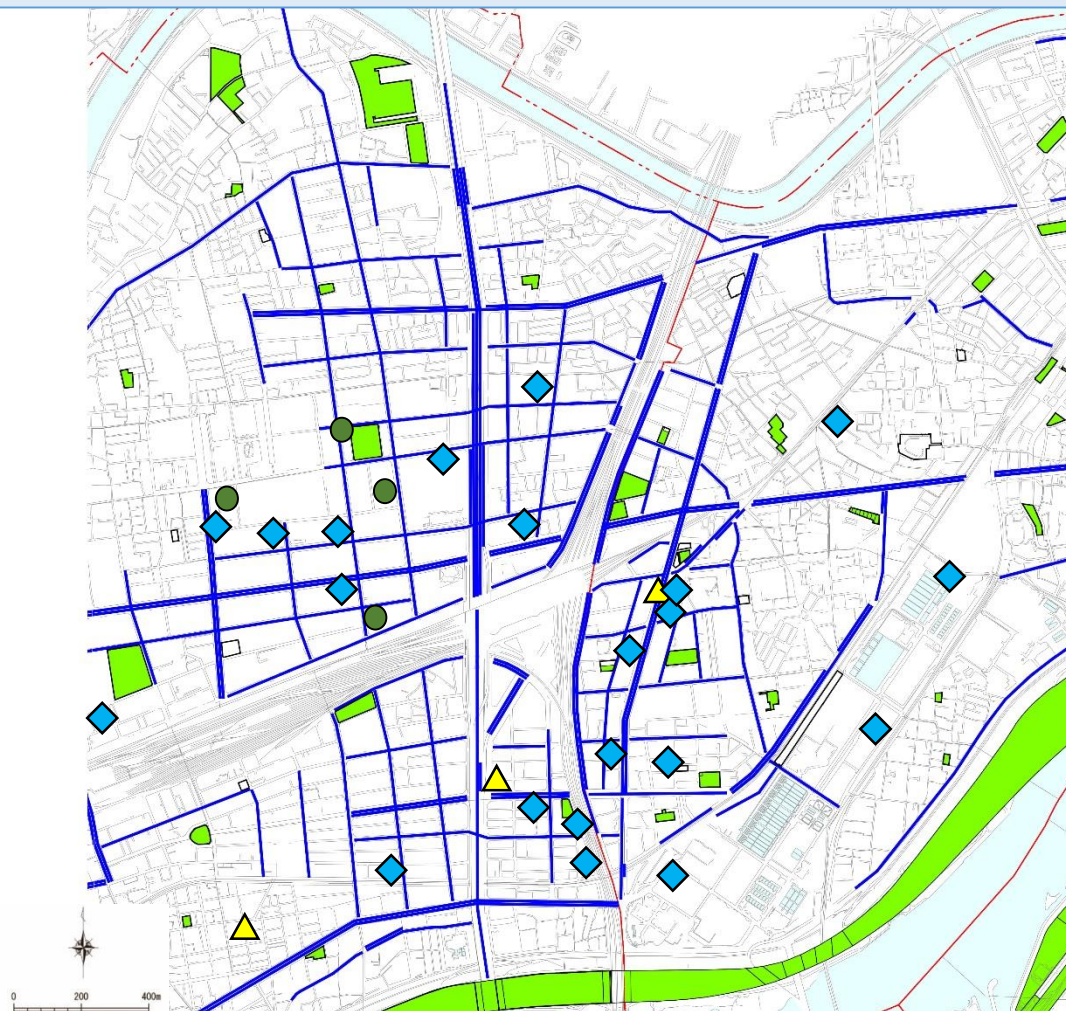




### 3. 新大阪地区におけるみどりの現況

#### ■ 街路樹・都市公園・民間緑化の現状

- 新大阪駅周辺では、南北方向、東西方向のいずれの主要路線にも街路樹が植栽されており、また東部を中心に小規模な都市公園が点在している。
- 新大阪駅の周辺を中心に屋上緑化・壁面緑化が行われており、北西部には公開空地が点在している。



#### 【街路樹】

— : 植樹帯

#### 【都市公園・臨港緑地】

■ : 都市公園

#### 【民間緑化】

● : 公開空地

◆ : 屋上緑化

▲ : 壁面緑化

※ 公開空地は平成17年度以降データ、屋上緑化・壁面緑化は航空写真等及び平成21年度以降のデータを基に作成



## 4. 新大阪地区の特性まとめ

### ○立地特性・土地利用について

- 道路や鉄道などの交通網が発達している
- 新大阪駅の東部・北部は住宅などが多い一方で、西部・南部には業務施設や販売商業施設が集積している

### ○関連計画・まちづくりの動きについて

- 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針2022」では、エリア価値を高める機能の集積と、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図ることとしている
- 広域交通結節施設や民間都市開発などの開発プロジェクトが予定されている

### ○みどりの現況について

- 新大阪駅の周辺では、いずれの主要道路にも街路樹が植栽されており、都市公園・公開空地などの小規模なオープンスペースが点在している
- 地区の南側では、淀川の広大なみどり空間が広がっている

## 5. 新大阪地区に関する本日の論点

地区の特性やまちづくりとの連動を踏まえながら、次の項目について議論を行う。

### ●新大阪地区の対象範囲について

- 次の観点なども踏まえ、どのような範囲の設定が適切か  
（例）淀川など既存の緑ストックとの関係性  
まちづくりの動きとの関係性 など

### ●みどりに関する取組内容・担い手について

- 現状や今後のまちづくり方針を踏まえ、今後の新大阪地区において、どのようなみどりの取組み・担い手を期待するか
- 期待する取組に対して、行政のほかにもどのような主体が想定されるか（地域住民、企業・ワーカーなど）

### ●みどりのまちづくりに関する将来像について

- 上記を踏まえ、今後の新大阪地区のみどりのまちづくりの将来像はどうあるべきか